

5つの ポイントで 市民と一緒に、 まちづくり。

自分の住むまちを居心地よく——誰もが願うことです。しかし、それは誰かが実現してくれるわけではなく、一人ひとりの思いと行動が必要です。いけぶち佐知子は、地域をよりよくしたいと願う人と人とのつなぎ、その思いを議会に届け、実現に向けて、次の5つをポイントにまっすぐに取り組んでいます。

Point 1 子どもも大人も、女性も男性も 一人ひとりが大切にされる社会を

お互いの違いを認め合い、それぞれの立場を尊重し、当事者の意見を施策に活かした市民サービスの充実と、命を大切にする社会をめざします。

Point 2 安心して子どもを生み育て 安心して老いることのできる地域を

世代間交流で助け合いの心を育て、地域で支えあう地域福祉の充実をめざします。一人でできることは一人から、一人でできないことはみんなで支える、いつまでも安心して暮らせる地域をめざします。

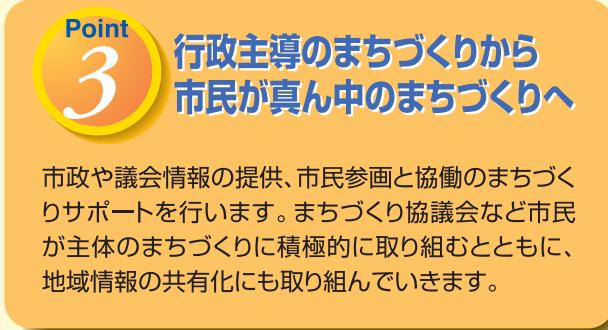
いけぶち佐知子のプロフィール

1957年、和歌山県生まれ。大阪大学薬学部卒業。薬剤師。製薬会社研究室勤務を経て、出産後は在宅ワークで化学文献翻訳、医療環境ライター。1994年、吹田市立女性センターに再就職、ユニークな講座の企画で人気を呼ぶ。社会教育主事資格を取得。1999年1月退職。吹田市千里山高塚在住。5人家族(夫、3人の息子)

1999年4月 吹田市議会議員当選

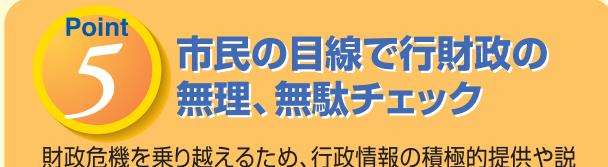
2003年4月 吹田市議会議員当選(二期目)

現在●大阪大学薬友会評議員●吹田市薬剤師会会員●アジェンダ21すいた幹事●千里山まちづくり協議会理事●地区連合自治会副会長



Point 4 環境・歴史文化と共生し 都市景観を“育てる・創る” 持続可能なまちづくり

開発一辺倒のまちづくりから、今あるものを大切にし、地域の環境と歴史文化を活かしたまちづくりをめざします。さらに、みんなで“育てる・創る”都市景観をめざします。



財政危機を乗り越えるため、行政情報の積極的提供や説明責任を求め、施策や予算立案過程から市民がチェック・選択・評価できるしくみづくりをめざします。公正で透明な行政執行を求めるとともに、議会への市民参加と透明性アップなど、更なる議会改革に取り組みます。

- 議会ごとに質問を行い、議会報告を年4回、3万部以上発行配布しています。
- メール通信を毎週発信し、通算300回を数えました。

●ホームページで情報公開と会計公開、ブログで日常の活動報告を行っています。

HP URL <http://www.ne.jp/asahi/gogo/net/>

ブログURL <http://blog.goo.ne.jp/gogonet21/>

いけぶち佐知子事務所

いけぶち佐知子応援団事務所

〒565-0851 吹田市千里山西5-2-5 アクネビル1F・2F

TEL.06-4861-7418 FAX.06-6387-4861

E-mail: gogo@net.email.ne.jp

きっと変わる。



市民派

未来にまっすぐ

いけぶち 佐知子

討議資料

まっすぐ向き合い、まっすぐ行動。



向き合う 「まちかどサロン」で市民と交流



事務所ビルの1階に「まちかどサロン」を設け、交流や意見・情報交換の場とし、市民の方々の声とまっすぐに向き合っています。

行動 大きな楠を残すために



図書館の敷地から道路予定地にはみ出していたため、切り倒されることになっていた大きな楠。「歩道と敷地を一体化させて、この楠を残そう」と提案し、みんなの力で実現しました

市民のみなさん
と
いけぶち
佐知子による

ミニ座談会

in
まちかど
サロン

「だから、いけぶちさんに期待する」

—市会議員いけぶちさんの魅力とは—

いけぶちさんの魅力は、いい意味で議員らしからぬ人ということでしょうね。道で出会ったとき市政のことなども気さくに話ができるし。

議員報酬の収支をきちんと開示されている点もいい、透明ですね。

住民の声に対する反応が早いのもいいですね。行動しながら考えるというスタンスがいい。

まっすぐな行動と、公平な視線がいい。仲がいい相手にも厳しくて(笑)。官制談合とは隔絶した人。それと、しがらみのなさ。8年間も議員をやって、ここまでしがらみのないのは、これから政治・地域づくりに必要な人ということです。女性から見ると、主婦同士の感覚で気取らずに話ができる、素のままの人です。男性と女性では市政に望むことが違うので、主婦の立場で、女性の声を大きくして頑張ってくれています。

—財政破綻しないために—

財政破綻した市もありましたが、吹田市は大丈夫でしょうか? 吹田市も市税収入が大幅に落ち込んでいます。財政健全化計画も進めていますが、財政調整基金の取崩しと赤字特例債の発行で何とかしのいでいる状態です。

今は、市政というものが、転換を求められている時期。経済成長は期待できないので、行政の経営手腕が問われはじめている。ただし、経営手腕だけでは限界があって、社会に受け入れられる哲学が必要でしょう。

地元への利益誘導も問題です。議員さんたちには、自分の地元だけでなく、吹田全体のことを考えて欲しいですね。

声高に文句を言う相手にだけ対応する政治的土壤が問題です。それが利益誘導に結びつくので、そこを変えていかないと。

その点、無党派のいけぶちさんは、変なしがらみがないのでいいですね。

—地域づくり・まちづくりの課題—

最近の吹田市は、高齢者の多い地区と、若い人の多い地区といった偏りが生まれています。いろいろな世代が混じり合って、お年寄りは子どもからエネルギーをもらい、子どもはお年寄りから教わるといった関係が必要です。

街灯の整備や緑化も大事だけど、お年寄りと若い人が一緒に暮らす街でないと。

三世代が融合できるのは身近な地域がいちばんです。いけぶちさんは、忙しい中でも、街の美化活動に、毎回のように参加されておられますね。

市民主体のまちづくりを街の美化からはじめようと思ったんです。行動すれば街が変わり、まちづくりへの意識も高まります。

吹田市の各地域で行われている良いまちづくりの取り組みがあれば、いち早く情報をみんなに伝えて、オピニオンリーダーになることも議員さんの役目でしょう。

安心安全のまちづくりや歴史文化や環境を大切にするまちづくりには、地域力や市民力が必要です。力を引き出しパワーアップさせるのが議員の役目だと思います。みなさんの期待に応えるために、これからも一層頑張ります。